

(7) 受講生によるアンケート評価

◎ 「酪農フィールド科学演習」 アンケート集計結果

受講者数：計 32 名

I 本取組に関する共通の質問

I-1 【属性について】

I-1-1) 所属大学・学部（コース等）

- 鳥取大学 農学部 生物資源環境学科：9名
- 岡山大学 農学部 総合農業科学科：7名
- 山口大学 農学部 生物資源環境学科：7名
- 香川大学 農学部 応用生物科学科：4名
- 愛媛大学 農学部 生物資源学科：3名
- 広島大学 生物生産学部 生物生産学科：1名
- 高知大学 農学部 農学科：1名

I-1-2) 学年

- 1年次生：20名 (62.5%)
- 2年次生：10名 (31.3%)
- 3年次生：2名 (6.3%)
- 4年次生：該当者なし

I-1-3) 性別

- 男性：9名 (28.1%)
- 女性：23名 (71.9%)

I-1-4) この演習以外に、これまでにフィールドを利用した授業を受けた経験があるか ある：15名 (46.9%)、ない：17名 (53.1%)

I-1-5) それほどの時期か(複数可)

- 大学：14名
- 高校：3名
- 中学校：2名
- 小学校：1名

I-1-6) 授業の内容

- 農場実習：8名
- 野菜の栽培：6名
- 演習林実習：1名
- 畜産実習：2名
- 林間学校：3名

I-2【この授業に参加するにあたっての情報入手について】

授業のことを、何を通して知ったか（複数可）

- ガイダンス：20名
- ネット：該当者なし
- パンフレット：6名
- その他：4名
- 先輩から：2名

I-3【この授業に参加した理由について】

I-3-1) 最も強い動機は？

- 自大には無い授業科目だから：12名 (37.5%)
- 体験学習だから：1名 (3.1%)
- 単位が取得できるから：6名 (18.8%)
- 現在の志望分野に関係するから：1名 (3.1%)
- 食と農について学べるから：3名 (9.4%)
- 広い知識を得たいから：4名 (12.5%)
- 他大学のことを知りたいから：該当者なし
- 他大学の学生と交流できるから：該当者なし
- 友人が参加するから：1名 (3.1%)
- おもしろそうだから：1名 (3.1%)
- その他（自由記述）：該当者なし

I-3-2) 二番目に強い動機は？

- 5名 (15.6%)
- 3名 (9.4%)
- 7名 (21.9%)
- 6名 (18.8%)
- 2名 (6.3%)
- 該当者なし
- 2名 (6.3%)
- 2名 (6.3%)
- 該当者なし
- 4名 (12.5%)
- 1名 (3.1%)

I-4【広島大学で授業を受けた感想】

I-4-1) 今回受講したフィールド教育に類する授業は、自大学にはない科目・内容だった

※広島大学の学生は回答せず

- そう思う：29名 (93.5%)
- わからない：該当者なし
- 自大にも類する科目がある：2名 (6.5%)

I-4-2) 他大学の先生の授業を受講できて良かった

※広島大学の学生は回答せず

- 強くそう思う：28名 (90.3%)
- あまりそう思わない：該当者なし
- まあまあそう思う：3名 (9.7%)
- 全く思わない：該当者なし

I-5【他大学の学生との交流等について】

I-5-1) 今回の授業の受講者数（30名）は、

- 多すぎる：2名 (6.3%)
- 少なすぎる：該当者なし
- 丁度良い：30名 (93.8%)

I-5-2) 他大学の学生と同じ授業を受けたことについて

- 大変良かった：20名 (62.5%)
- あまり良くなかった：2名 (6.3%)
- まあまあ良かった：10名 (31.3%)
- 悪かった：該当者なし

I-5-3) 他大学の学生と交流がどの程度できたと思うか

- 活発にできた：5名 (15.6%)
- まあまあできた：24名 (75.0%)
- あまりできなかった：2名 (6.3%)
- 全くできなかった：1名 (3.1%)

I-6 【演習の実施方法について】

(この授業は、4日間の集中形式で、講義、実習、発表の3部から構成されている)

I-6-1) こうした組合せは、授業を理解する上で有効である

- 強くそう思う：20名 (62.5%)
- まあまあそう思う：6名 (18.8%)
- あまりそう思わない：4名 (12.5%)
- 全く思わない：該当者なし

I-6-2) 講義、実習、発表のうち、最も面白かったもの

- 講義：該当者なし
- 実習：31名 (96.9%)
- 発表：1名 (3.1%)

I-6-3) 3泊4日の日数について

- 長すぎる：5名 (15.6%)



I-6-4) 何日間なら良いか

- 1単位になっても2日間が良い：3名
- 1単位になっても3日間が良い：2名
- 丁度良い：22名 (68.8%)
- 短すぎる：5名 (15.6%)

I-7 【参加費に関して】

I-7-1) 自分の得たものを考えると参加費は妥当か

- 強くそう思う：24名 (75.0%)
- まあまあそう思う：7名 (21.9%)
- あまりそう思わない：1名 (3.1%)
- 全く思わない：該当者なし

I-7-2) 参加費(実費)から考えて、食事は満足できたか

- 強くそう思う：8名 (25.0%)
- まあまあそう思う：10名 (31.3%)
- あまりそう思わない：10名 (31.3%)
- 全く思わない：4名 (12.5%)

I-7-3) 参加費(実費)から考えて、宿泊施設には満足できたか

- 強くそう思う：20名 (62.5%)
- まあまあそう思う：10名 (31.3%)
- あまりそう思わない：2名 (6.3%)
- 全く思わない：該当者なし

I-7-4) 参加費（実費）をもっと高くしても食事と宿泊施設を良くしてほしいか

- そう思う：1名（3.1%）



I-7-5) 参加費（実費）がどの程度までなら参加するか

- 5,000円～：1名
- 10,000円～：該当者なし
- 15,000円～：該当者なし
- 20,000円～：該当者なし
- そう思わない：31名（96.9%）

I-8【食農フィールド科学演習全体について】

I-8-1) このフィールド科学演習の形式は通常の講義だけの授業よりも、物事を考える上で、有意義である

- 強くそう思う：28名（87.5%）
- まあまあそう思う：3名（9.4%）
- あまりそう思わない：1名（3.1%）
- 全く思わない：該当者なし

I-8-2) この演習によって、フィールド科学の幅広さや面白さを知った

- 強くそう思う：25名（78.1%）
- まあまあそう思う：6名（18.8%）
- あまりそう思わない：1名（3.1%）
- 全く思わない：該当者なし

I-8-3) この演習を受講して食べ物と農業の関係についてもっと知りたくなった

- 強くそう思う：12名（37.5%）
- まあまあそう思う：20名（62.5%）
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし

I-8-4) この演習によって、食べ物と命の関連性について考えるようになった

- 強くそう思う：20名（62.5%）
- まあまあそう思う：10名（31.3%）
- あまりそう思わない：2名（6.2%）
- 全く思わない：該当者なし

I-8-5) この演習によって、わが国の食料自給率について考えるようになった

- 強くそう思う：12名（37.5%）
- まあまあそう思う：14名（43.8%）
- あまりそう思わない：6名（18.8%）
- 全く思わない：該当者なし

I-8-6) この演習によって、行動力や積極性を高めることができた

- 強くそう思う：6名（18.8%）
- まあまあそう思う：18名（56.3%）
- あまりそう思わない：8名（25.0%）
- 全く思わない：該当者なし

I-8-7) この演習によって、これからの学習意欲が高まった

- 強くそう思う：15名（46.9%）
- まあまあそう思う：15名（46.9%）
- あまりそう思わない：2名（6.2%）
- 全く思わない：該当者なし

I-8-8) 他大学の学生と交流することによって、コミュニケーションスキルが高まった

- 強くそう思う：12名 (37.5%)
- あまりそう思わない：10名 (31.3%)
- まあまあそう思う：10名 (31.3%)
- 全く思わない：該当者なし

I-8-9) グループ単位の実習によって、チームワークに対する意識が高まった

- 強くそう思う：16名 (50.0%)
- あまりそう思わない：4名 (12.5%)
- まあまあそう思う：12名 (37.5%)
- 全く思わない：該当者なし

I-8-10) グループ単位の実習によって、リーダーシップをとる力が高まった

- 強くそう思う：5名 (15.6%)
- あまりそう思わない：14名 (43.8%)
- まあまあそう思う：8名 (25.0%)
- 全く思わない：5名 (15.6%)

I-8-11) 参加する前の期待度に比べて満足度はどうか

- 非常に満足した：19名 (59.4%)
- あまり満足できない：3名 (9.4%)
- まあまあ満足した：10名 (31.3%)
- 全く満足できない：該当者なし

I-8-12) 今回の演習を受講して後輩にも勧めたいと思ったか

- 強くそう思う：10名 (31.3%)
- あまりそう思わない：1名 (3.1%)
- まあまあそう思う：21名 (65.6%)
- 全く思わない：該当者なし

I-8-13) 本演習以外にも他大学の講義を受講できる機会をもっと増やして欲しいか

- 強くそう思う：10名 (31.3%)
- あまりそう思わない：4名 (12.5%)
- まあまあそう思う：18名 (56.3%)
- 全く思わない：該当者なし

I-8-14) 本演習で経験したことは将来の進路選択の参考になったか

- 強くそう思う：22名 (68.8%)
- あまりそう思わない：2名 (6.2%)
- まあまあそう思う：8名 (25.0%)
- 全く思わない：該当者なし

II 授業に関する質問（この演習は、講義、実習、発表等から構成されている）

II-1 【今回の講義に関する質問】

II-1-1) 最も面白いと感じた講義とその理由

- 乳牛と肉牛の遺伝的特性：1名（3.1%）
 - ・写真が豊富でわかりやすかった。
- 牧草，飼料作物生産と放牧の実際：3名（9.4%）
 - ・植物に興味があるから。 ・循環型農業のことを知れたから。
- 胃のしくみを探る：2名（6.2%）
 - ・胃液の採取が衝撃的だった。
- 生乳の低温殺菌：2名（6.2%）
 - ・様々な殺菌方法があることがわかったから。
- 人と動物の関係について考える：2名（6.2%）
 - ・考えたことの無いことだったから。
- 乳牛の人工授精の実際：15名（46.9%）
 - ・人工授精に興味があるから。 ・最も楽しみにしている授業だったから。
 - ・ウシとブタの子宮を解剖できたから。 ・細かいところまで観察できたから。
- 生乳の加工とバター作り：9名（28.1%）
 - ・振るのが楽しかった。 ・バター作りの難しさを知ったから。 ・上手くできたから。

II-1-2) 最も理解しにくかった講義とその理由

- 乳牛と肉牛の遺伝的特性：4名（12.5%）
 - ・ウシの種類が多すぎてわからなかった。 ・なぜ、多様なウシがいるのか疑問だった。
- 牧草，飼料作物生産と放牧の実際：3名（9.4%）
 - ・声が聞こえにくかった。 ・現場に行く前に講義があったから。
- 胃のしくみを探る：4名（12.5%）
 - ・音があまりわからなかった。 ・専門用語が難しかった。
- 生乳の低温殺菌：該当者なし
- 人と動物の関係について考える：7名（21.9%）
 - ・今まであまり聞いたことのない考えだったから。 ・抽象的な内容が多かったから。
- 乳牛の人工授精の実際：4名（12.5%）
 - ・話の段階ではよく理解できなかった。 ・技術が必要だと感じた。
- 生乳の加工とバター作り：3名（9.4%）
 - ・バターが上手くできなかったから。 ・思っていたよりも大変だったから。
- 無回答（特になし）：7名（21.9%）

Ⅱ－２【今回の実習に関する質問】

Ⅱ－２－１）最も面白いと感じた管理作業とその理由

- 乳搾り体験：28名（87.5%）
 - ・最も楽しみにしていたから。
 - ・難しかったが、様々な工程を体験できたから。
 - ・ウシに実際に触れられたから。
 - ・搾乳の後、バターを作ることができたから。
- 乳牛へのエサやり：1名（3.1%）
 - ・餌を食べるウシが可愛かったから。
- 中小家畜へのエサやりと畜舎の掃除：2名（6.2%）
 - ・ウシ以外の動物と触れ合えたから。
- 肉牛へのエサやり：1名（3.1%）
 - ・肉牛に興味があるから。

Ⅱ－２－２）最も理解しにくかった管理作業とその理由

- 乳搾り体験：5名（15.6%）
 - ・工程が多かったから。
 - ・手で搾るのは大変だったから。
- 乳牛へのエサやり：2名（6.2%）
 - ・作業が単調だった。
- 中小家畜へのエサやりと畜舎の掃除：3名（9.4%）
 - ・作業できる人数が少なかったから。
 - ・糞の量が多かったから。
- 肉牛へのエサやり：4名（12.5%）
 - ・事前に説明などが無く、指示が分かりづらかったから。
 - ・あまりやることがなかった。
- 無回答（特になし）：18名（56.3%）

Ⅱ－３【今回の発表会および発表準備に関する質問】

Ⅱ－３－１）発表のチームワークは上手くできたか

- 強くそう思う：5名（15.6%）
- あまりそう思わない：8名（25.0%）
- まあまあそう思う：19名（59.4%）
- 全く思わない：該当者なし

Ⅱ－３－２）他班の発表と比較して自分たちの発表は

- 上位に位置していた：5名（15.6%）
- 下位に位置していた：7名（21.9%）
- 中程度に位置していた 20名（62.5%）

Ⅱ－３－３）発表のための基礎的な手法が身に着いたか

- 強くそう思う：2名（6.2%）
- あまりそう思わない：10名（31.3%）
- まあまあそう思う：18名（56.3%）
- 全く思わない：2名（6.3%）

Ⅱ－３－４）発表会をすることで、講義や実習の内容がより理解できた

- 強くそう思う：5名（15.6%）
- あまりそう思わない：5名（15.6%）
- まあまあそう思う：18名（56.3%）
- 全く思わない：4名（12.5%）

その他 演習に関する感想

良かった点

- ・たくさんの動物と触れ合えた。
- ・農場での作業の一連の流れを体験し、理解することができた。
- ・農場で実際に帯剣しながら、食と農について学ぶことができた。
- ・ただ体験するだけでなく、講義も受けられて良かった。
- ・テキストが日ごとに分けられていて見やすかった。
- ・他大学の学生と関わることができた。
- ・短期間で内容の濃い充実した演習だった。
- ・発表のテーマが良かった。在学中に将来のことを見つめ直す機会になった。
- ・発表準備の際にお菓子を準備してくれたので、眠たくならなかった。
- ・参加費が安く、宿舎が綺麗だった。
- ・スケジュールに余裕があって良かった。
- ・TAの対応が良かった。

改善点

- ・実習中にもっと写真を撮りたかった。
- ・講義が難しい先生がいた。
- ・ひとつひとつの実習にもっと時間をかけてほしい。
- ・受講生が多いので、作業に携われないことがあった。
- ・全員が真剣に参加していなかったのが残念だった。
- ・講義のスライド資料などを配布してほしかった。
- ・発表の班は他大学と混ぜた方がよい。
- ・朝食と昼食が少なかった。
- ・お風呂の時間が短かった。